

# Journal of International Health 投稿規定

Journal of International Health は日本国際保健医療学会が年に 4 回発行する学術雑誌である。発行の目的は、日本国際保健医療学会に所属する会員が国際保健医療に関する研究、調査、事業、教育・研修などを実施する中で、情報を共有し、成果を学び合い、課題を検討し合うことで、各会員の各種活動を活性・促進し、今後の国際保健医療の発展に寄与することである。

本雑誌では高いレベルでの学(Science)と術(Art)を追い求めながらも、国際保健医療のもつ包括性および学際性を鑑みて、政策立案者から地域の実践者まで多様な職種・諸活動、さらに保健医療に関連する政治・経済・社会・文化など様々な観点からの論文を取り上げる。したがって、論文は多様な職種・専門家間で共有して学べるよう、たとえば現場の実践家にも、他の専門家にも理解しやすいように記載されたい。

著者は以下の投稿規定に基づいて原稿を作成・提出すること。臨床試験を含む研究については、臨床試験登録公開(clinical trial registry: CTR)を行うこと。ランダム化比較試験報告(RCT)を含む研究については、CONSORT 声明(<http://www.consort-statement.org/consort-statement/>)に準拠すること。

なお、この規定に示されていない項目は、医学雑誌編集者国際委員会が示す「生物医学雑誌への統一投稿規定」(<http://www.icmje.org/> Accessed August 1, 2005)に準拠することとする。

英文による投稿は、英文の投稿規定 Instructions to Authors を参照すること。

## 1. 投稿資格

筆頭著者は本学会員に限る。未加入の場合、投稿と同時に入会手続きをとることは可能。他誌に発表された原稿(予定も含む)の投稿は認められない。

## 2. 研究の倫理性

人を対象とした研究については、世界医師会が提唱したヘルシンキ宣言を遵守し、研究開始前に著者の所属機関などの研究倫理委員会(またはそれに相当する倫理審査に関わる組織)によりその研究計画書が承認され、必要時は、研究を実施した国の倫理基準に従い、本人あるいは保護者の承諾書を得た後に研究を行う。また、症例を呈示する際は、個人を特定できないよう個人のプライバシーを守るように十分に配慮する。これらの倫理的配慮や研究対象者への配慮や、必要に応じて、研究を実施した国の倫理基準に沿った研究を行った旨について、投稿時に必ず「方法」等の項に記載すること。

## 3. 論文の言語

投稿原稿は和・英いずれの言語を用いてもよいが、国際的に発信したい(すべき)内容はできるだけ英文とする。

## 4. 投稿原稿の種類と構成

投稿原稿の種類とその内容は表 1 の通りである。これ以外に、編集委員会で認めたものを掲載することもある。また、投稿原稿の構成や見出しは表 2 の通りである。

表 1 投稿原稿の種類内容

種類	内容	字数
オピニオン Opinion	国際保健医療に関する研究、活動、政策、動向などについての提案・提言	8,000字以内
総説 Review Article	国際保健医療に関する研究・調査論文の文献考察を行い、著者自身の考察を加えて論評しているもの	16,000字 以内
原著 Original Article	国際保健医療に関する独創的な研究論文または科学的観察	12,000字 以内

短報 Short Report	国際保健医療に関する独創的、萌芽的な研究論文または科学的観察の短報	8,000字 以内
活動報告 Field Report	国際保健医療に係る実践的な活動をまとめたもので、他地域で同様の事業を展開する者に参考になるような報告	12,000字 以内
フォーラム Forum	国際保健医療に係るテーマについて個人的な意見を自由にまとめたもので、会員相互の啓発を促すようなもの	4,000字 以内
資料 Information	上記のいずれにも当てはまらないが、国際保健医療において有用な情報や資料となりうると判断されるもの	12,000字 以内
会員の声 Letters	掲載論文に対する意見、関連学会・会合などの報告、その他会員からの声	1,600字 以内
書評 Book review	国際保健医療に関わる書籍について、専門家としての観点から、感想・意見を記載したもの。当該書籍の販売のための宣伝とみなされるものは掲載をしない	1,600字 以内

表 2 投稿原稿の構成

項目	内容・形式・対象となる論文の種類など
和文要旨	「原著」「短報」「活動報告」「資料」について記す。ただし、英文原稿には必ずしも和文要旨をつける必要はないが、日本人の読者に広く発信したい場合には、和文要旨を添えてよい。「原著」「短報」については、「目的」「方法」「結果」「結論」にわけ、「活動報告」「資料」については、同様またはそれに準ずる適切な見出しをつけて記載すること。(和文 1,000 字以内)
英文要旨 (Abstract)	和文、英文を問わず「原著」「短報」「活動報告」「資料」について記す。「オピニオン」「総説」についても、国際的に広く発信したい場合には、英文要旨を添えてよい。「原著」「短報」については、「Introduction」「Methods」「Results」「Conclusions」にわけ、「活動報告」「資料」については、同様またはそれに準ずる適切な見出しをつけて記載すること(英文 300 語以内)
キーワード (Keywords)	(5 個以内) キーワードのつけ方としては、NLM ホームページ MeSH コーナー Online searching of MeSH vocabulary ( <a href="http://www.nlm.nih.gov/mesh/MBrowser.html">http://www.nlm.nih.gov/mesh/MBrowser.html</a> )を参考にする。
本文	「原著」「短報」については、原則として以下のような見出しをつける。「活動報告」「資料」については、同様またはそれに準ずる適切な見出しをつけて記載すること。「オピニオン」については見出しをつけてもつけなくてもよい。「フォーラム」は原則として見出しをつけなくてよい。
I.緒言 (Introduction)	研究・調査・事業などの背景と目的を記す。
II.方法 (Methods)	研究・調査・事業などの方法について、対象者や地域、標本抽出方法、使用した手法、解析・評価・検討の方法などを記す。「活動報告」では、他地域での同様の事業・活動を展開するものに参考になるような記載を行う。
III.結果 (Results)	研究・調査・事業などの結果・成績、インパクトなどを記す。必要に応じて図表を使って分かりやすく示すことが望まれるが、その際、本文との重複は避ける。「活動報告」「資料」については、必要に応じて「結果」と「考察」をまとめたり、別の項目をたてたりしてもよいが、客観的な事実としての結果と著者らによる意見や分析はできるだけ分けて記載する。
IV.考察 (Discussion)	結果・成果に関する考察や評価。「活動報告」については、他地域での同様の事業・活動の参考となるよう、成果や問題点、課題・教訓に関する分析・検討、他の事業に普遍化できるものとその活動における特殊性のあるものの整理などを行う。
V.結語(省略可) (Conclusions)	本研究・調査・事業から導かれた結論、明らかになったこと、学んだことなどを簡潔に整理する。
文献	「原著」「短報」「総説」は必須、「オピニオン」「活動報告」「資料」「フォーラム」も必要に応じて入れる。「原著」「短報」「総説」はできるだけ学術雑誌・単行本など、出典が広く入手・検索できるものとするが、「オピニオン」「活動報告」「フォーラム」「資料」はインターネットで入手した文書、新聞・一般雑誌、出典の検索・入手は難しいが、途上国やその地域における貴重な資料も含めてよい。また、事業で作成した研修マニュアルや報告書、その他、他の類似の事業に参考になるような資料は、その入手方法などを含めて文献または本文中に示してもよい。
謝辞(省略可)	研究助成などがある場合はそれを明示すること。

## 5.原稿の査読

編集委員会は編集委員や代議員などによる査読を行い、3ヶ月以内を目処に投稿者にその結果を返送する。投稿原稿の修正を求められた場合には、できるだけ速やかに、指摘された事項に対応する回答を付記した上で再投稿すること。なお、返送から 3 か月以上経過しても連絡がない場合は、投稿を取り下げたとみなす。

## 6.投稿原稿の執筆要領

1) Word文書を原則とし、和文原稿および和文抄録は A4 版用紙(縦)に横書きで 25 字×32 行、英文原稿および英文抄録はダブルスペース、フォントサイズは 12 とする。表紙から通しでページ番号を右下につけ

ること。図表についてはつけなくてよい。数字及び英字は原則として半角とする。

2)表紙には、表題、希望する原稿の種類、原稿枚数、図表および写真の枚数、必要別刷部数(別刷が不要の場合は「0」を記載)、別刷の送付先・請求先、著者名、所属機関名、連絡者の連絡先(住所、電話、ファクシミリ、e-mail アドレス)を明記する(出版時に掲載したくない項目は、掲載決定後に申し出ること)。異なる機関に属する共著者がいる場合は、各所属機関に番号をつけて氏名欄の下に一括して示し、その番号を対応する著者の氏名の右肩に記す。

3)会員の声、書評以外の和文の投稿原稿には、表題、著者名、所属機関名、連絡先、キーワードについては和文と英文を併記すること。和文原稿、英文原稿ともに、外国人名がある場合は、アルファベットで表記し、First name Middle name (イニシャルのみ) Surname の順とする(例 James C. Bond)。日本人も英文原稿においてはフルスペルで名 (First name) 姓 (Surname) の順で記載する(例 Hitomi Yamamoto)。

4)和文要旨および英文要旨は、原稿の種類により必要とされる場合がある(表 2 参照)。英文要旨は英語に関して十分な知識を持つ専門家にチェックを受けることが望ましく、英語として不十分な場合、査読において再度チェックを求めることもある。

5)文体は平易簡潔な口語体を用い、一般用語は新かなづかい、常用漢字を使用し、専門用語は「医学用語辞典(南山堂)」に従う。

6)日本語化した外国語は片かなで記すが、化学品名(薬品名は原則として一般名を用いる)などの科学用語や外国人名は原語を用いる。

7)度量衡単位は mm、cm、ml、%、℃などの記号を用い、数字は算用数字を用いる。

8)図・表・写真は、1 枚ずつ作成し、それぞれ掲載順に、図 1、表 1、写真 1 のように一連番号をつけ、それぞれの挿入希望位置を本文中に(図 1 を挿入)などで示す。必要に応じて、表題のほかにも、適切な説明をつける。なお、図・表・写真は 1 件につき400字相当とみなす。

9)引用文献は記載順に通し番号をつけ、一括して本文の末尾に掲げ、本文中には、引用部の右肩に<sup>1)2)3)</sup>...の番号を付す。雑誌の略語は、原則として、邦文雑誌は省略せず、外国雑誌は "Index Medicus" に従う。著者名は 6 名まではそのまま記載し、7名以上の時は、3 名までを挙げ、それ以外の著者は「～、他」(和文)または "et al." (英文)として省略する。原著、具体的な記載方法は下記に例を示すが、詳細は AMA(American Medical Association)Style Guide を参考にすること。

#### 雑誌の場合

著者名.表題.雑誌名 西暦発行年;巻:頁- 頁.1)小松崎理香,寺田薫,長坂典子,他.保健所の歯科健診における在日外国人の母親の実態調査.小児保健研究 1996; 55: 456- 461.

2)Nabarro D, Chinnock P. Inappropriate promotion of an appropriate technology. Soc. Sci. Med. 1988; 26: 941- 948.

#### 単行本の場合

著者名.表題.編者名.書名.発行所所在地:発行所,西暦発行年;頁- 頁.3)中村安秀.緊急援助時の医学的対応.竹田美文,多田功,南嶋洋一編.新熱帯感染症学.東京:南山堂,1996;46- 53.

4)Yahya S, Roesin R. Indonesia-Implementation of the health-for-all strategy. In: WHO, Achieving health for all by the year 2000. Geneva: WHO; 1990: 133- 150.

#### 新聞・雑誌の場合

著者名.表題.新聞名.発行日時:頁.

5)Gottlieb M. A free-for-all in swapping Medicaid for managed care. New York Times. October 2, 1995: A1, A4.

#### 報告書の場合

著者名.表題.In:書名.発行所所在地:発行所;西暦発行年.

6)Bureau of the Census. Higher education price indexes: 1965- 1991. In: Statistical Abstract of the United States: 1993. 113th ed. Table 277. Washington, DC: US GPO; 1993.

#### CD-ROMs の場合

著者名.表題.[CD-ROM].発行所所在地:発行所;西暦発行年.

7)Anderson SC, Poulsen KB. Anderson's Electronic Atlas of Hematology [CD-ROM]. Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins; 2002.

#### Database Online の場合

著者名.表題 [Web page].発信元 Web site.Available at ウェブアドレス. Accessed アクセスした年月日.

8)National Center for Complementary and Alternative Medicine. St. John's Wort and the treatment

## 7.原稿の送付

1) 投稿は電子メールによる送付のみ。

2) 投稿原稿は、以下の通り、3つのファイルに分け、送付する。

a) 表紙ファイル

下記を明記した表紙を、1つの文書ファイルとする(2ページにわたってもよい)。

- ・表題
- ・希望する原稿の種類
- ・原稿枚数
- ・図表および写真の枚数
- ・必要別刷部数および別刷の送付先・請求先
- ・著者名、所属機関名、連絡者の連絡先(住所、電話、ファクシミリ、e-mail アドレス)

b) 本文ファイル

下記を1つの文書ファイルにまとめる。著者名、所属機関名、連絡者の連絡先は記載しない。

- ・表題
- ・希望する原稿の種類
- ・キーワード(5 語まで)
- ・和文要旨および英文要旨(表2に従う)
- ・本文
- ・文献
- ・謝辞(省略可)

c) 図表ファイル

図表や写真は、上記のファイルとは別の1つのファイルにまとめて保存する。

ただし、図や写真のファイルの解像度は、論文を審査する上で十分な解像度が得られていれば、投稿の段階では特に高解像度である必要はない。掲載が決定した場合、図・写真については、出版社から原図の提出を求めることがある。

3) 投稿原稿は、添付書類として下記まで電子メールで送付する。その際、原稿審査依頼状は電子メール本文にテキスト形式で記載する。

国際保健医療編集事務局

〒 162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

TEL:03-3202-7181 FAX:03-3205-7860

電子データの送付先: [jaih-admin@umin.ac.jp](mailto:jaih-admin@umin.ac.jp)

## 8.採否と著作権

投稿原稿の採否は編集委員会で審議し決定する。また、学会誌に掲載した投稿原稿の著作権は学会に帰属する。

## 9.別刷

別刷の印刷費、発送費はすべて有料。

---

なお、この規定は、改定を受けて 2013年 1月 1日より実施される。